

日本遺産魅力発信誘客促進事業（研磨体験業務） 実施報告

事業目的：甲府市・甲斐市の小中学生を対象とした研磨体験事業を実施し、「宝石の街・甲府」の礎となった研磨技術を知る機会を設け、郷土への愛着と誇りの醸成を図っていくとともに技術（産業）の継承に繋げていく。

講座名：昇仙峡「日本遺産のストーリー」を学ぶ～宝石研磨体験イベント～

開催日時：令和4年3月12日（土）午前9時30分～午後6時30分

開催場所：甲府市役所本庁舎

講師：伝統工芸士 大寄智彦 外3名
日本遺産昇仙峡アシスタントガイド 吉田均 外4名

参加人数：小学生の部 45名
中学生の部 22名
高校生・一般の部 29名

講座内容：アクセサリー作成
宝石研磨
ジオードクラッキング
水晶加工の歴史
昇仙峡日本遺産のものがたり

総括：本事業では、日本遺産昇仙峡のストーリーを学ぶこと、そして、ストーリーの核となり「宝石の街・甲府」の礎となった研磨技術の体験を組み合わせることで、参加者の郷土への愛着と誇りの醸成が図れたとともに、次世代を担う子供たちへの技術（産業）の継承に繋がるきっかけを与えることができた。

今回、小学生から大人までの参加者全てがとても興味を持って日本遺産のストーリーや研磨技術の体験に取り組み、参加者からは、『身近な昇仙峡のストーリーが日本遺産に認定されていることや、昇仙峡一帯が水晶の一大産地だったことが「研磨技術の発展」へと繋がり、「宝石の街・甲府」と呼ばれるまでに発展した歴史を知ることができてよかった』と、とても好評をいただいた。

講座の様子

【全体】



【アクセサリー作成】



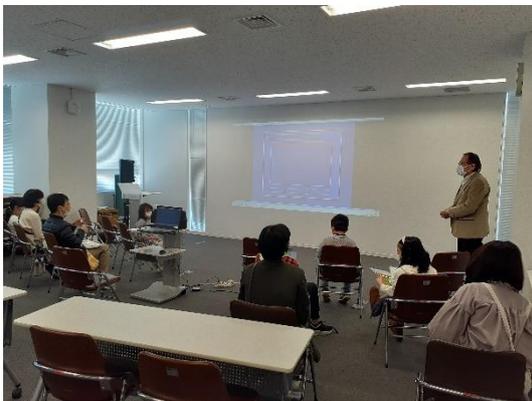
【宝石研磨】



【ジオードクラッキング】



【水晶加工の歴史】



【昇仙峡日本遺産のものがたり】

